

No. 6-4

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 06 - 4

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		3		作成日		26年 6月 13日		
事務事業名		啓発車両運行事務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち						課名	環境資源課		係名	
		4-2 良好な生活環境のまちをつくる							シート作成者			
	施策	4-2-1 環境衛生対策の推進						予算費目	会計		一般	
									款		4	
主要施策	③ 不法投棄の監視体制と啓発活動の活性化						項		2			
							目		1			
個別計画名												
住民との関わり		特になし										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				ごみの不法投棄の監視及び回収をすることで個々のポイ捨てを無くす意識付けと捨てられた物を回収することで環境美化に努める。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		啓発車両により、不法投棄物及びポイ捨てごみの一斉清掃を町内全域で行い、併せて児童生徒の防犯パトロールを行っている。 25年度不法投棄回収実績 テレビ18台、洗濯機1台、冷蔵庫3台 タイヤ36本、掃除機1台、扇風機3台、自転車12台ほか 委託料 1,829,100円										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等												
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		2,093			2,093			2,146				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		1,829			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		0			1,829			1,882			
直接事業費（千円）A		1,829			1,829			1,882				
人件費（千円）B		264			264			264				
内訳	一般職員（人・千円）		0.04 人 264		0.04 人 264		0.04 人 264					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	25年度		26年度	27年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	不法投棄件数			件	↓	319	↓				
	②											
③												
説明	不法投棄件数を把握し、よく投棄される場所のパトロール及び不法投棄、ポイ捨て啓発を行う。											

事業名	啓発車両運行事務	シート作成課	環境資源課
-----	----------	--------	-------

一次評価者	環境資源課	二次評価者	生活福祉部長
-------	-------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	<ol style="list-style-type: none"> 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 国や県のサービスと重複している。 民間のサービスと競合している。 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ポイ捨て、不法投棄のない快適な生活環境整備を図るため、住民への意識啓発を行うことは重要な事業です。
有効性	<ol style="list-style-type: none"> 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ポイ捨て、不法投棄のない快適な生活環境整備を図るため、住民への意識啓発を行うことは重要な事業です。
達成度	<ol style="list-style-type: none"> 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 概ね目標を達成していると思う。 十分に目標を達成していると思う。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	啓発車をパトロールさせることで、不法投棄箇所・ポイ捨て箇所が減少しました。
効率性	<ol style="list-style-type: none"> 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 他の実施主体のノウハウを活用できる。 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	委託することにより、人件費の削減・業務の迅速化が図られ、住民サービス向上が期待できます。

本事務事業の実施適切性の説明

不法投棄防止パトロールにより、道路パトロール・防犯パトロールも兼ね、不法投棄・ポイ捨て撲滅を行っています。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
今後の改革・改善目標	不法投棄の多い所に監視カメラを設置し、不法投棄の抑制に努め、さらにはクリーン作戦委員会や地元自治会を通じ住民の意識向上を図り、町内での不法投棄、ポイ捨てなどの監視活動協力ができるように啓発を行っていきます。また、啓発車についても後をたたない不法投棄やポイ捨ての監視活動、清掃活動を実施いたします。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
コメント	不法投棄の重点監視ポイントを定め重点監視が必要。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--